

ほけんだより

きらら保育園 H29. 10 月

寒暖の差が出始め、秋を感じる季節となりましたね。雨が続く日もありますが、運動会に向けて園庭やホールで元気いっぱい練習をしています。9月は感染症による欠席者が少なくみんな元気に登園できたと思います。そろそろインフルエンザの予防接種も始まりつつありますので計画を立ててみて下さいね。

足に合った靴で元気にあそぼう！

すぐに成長するからと、つい、合わない靴をはかせていませんか？ 靴が足に合っていないと、不自然な足の使いかた、歩きかたのまま足が育つこととなります。成長著しいこの時期こそ、適切な靴選びが重要なのです。再度見直してみましょう。

調整ベルトがついている

足を固定し、足と靴を一体化させる役割があります。



つま先にゆとりがある

理想は5mm。
すぐに成長することを考え、5～9mmのゆとりがあるものを選びましょう。指が自由に動かせるように、つま先が広がって厚みがあることも大切です。

柔らかく、クッション性のある靴底

足の動きにフィットする柔らかさと、地面からの衝撃を和らげるクッション性が必要。

ひかり利用状況 (8/21～9/20)

利用者：54人

(きらら保育園：21名、きらら保育園以外：33名)

年齢別

0歳児：20人 1歳児：18人 2歳児：11人
3歳児：1人 4歳児：2人 5歳児：2人 小学生：0人

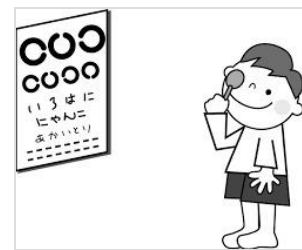
症状別 (重複あり)

急性上気道炎：24人 喘息・喘息様気管支炎：9人
気管支炎・肺炎：3人 急性腸炎：3人 急性中耳炎：2人
急性扁桃炎：1名 感染性胃腸炎：10人 クループ：2人
手足口病：2名 伝染性膿痂疹：1
血管腫レーザー後：1人



10月10日は目の愛護デー

子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は6歳頃にほぼ完成すると言われています。その後に視力が低下するのは、幼い頃の姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。自然の中で十分に遊ばせ、外の景色をたくさん見せることでお子さまの視力を育てていきましょう。



こんな見方は危険信号！

- ・テレビや絵本に近付いて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めて見る
- ・上目遣いに物を見る
- ・目つきが悪い、目が寄っている
- ・見る時に首や頭を傾けたりする

このような症状が見られると斜視や弱視の可能性が考えられます。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、上記のような症状がないか普段から気にかけて見るようにしてください。

内科健診があります

10月11日(水) 9:30～

当日家庭保育を予定されている方は、保護者さんと一緒に健診することも可能です。

事務室までお知らせ下さい。

